



女性部いきいきニュース

全教北九州市教職員組合女性部 2017 / 2 / 9 No. 13



第1回女性部総会 & 第5回女性部学習交流会 in戸畑

2017年1月14日。全教北九州女性部第1回「女性部総会」が開かれました。全国の女性部委員会や総会に出席するたびに、女性部としての結集と自立を試みなければ、将来を見据えて（大きな組織になっていったとき）ぶれない女性部は作れないのではないかと思います、女性部総会を開催しました。内容は活動報告と活動方針の確認という形にとどまった初回総会の開催となりました。今後の課題も見えてきましたが、無理せず、楽しく仲間と手をつなぎ、また、展望の見える総会をみなさんと一緒につくっていったらと思っています。

今は人数が少なくても、“手を離さない、ゆるみそうになった手をぎゅっと誰かがつかんで、大きなお世話をやいてくれる”女性部になれたらいいなあと思います。(佐藤) お詫び：白板表記を間違っしまい、山本さんには失礼いたしました。

全教北九州委員長挨拶（抜粋）

いよいよ4月より私たちは北九州市の費負担教職員としてスタートします。妥結の最低条件として「県費負担教職員の勤務・労働条件をそのまま継続する」この一点で交渉してきましたが、結果はご存知のように一部経過措置などでこちらの要求の取り入れはあったものの合意にはいたらず市側の提案を全教北九州は受け入れることはできないということで交渉は終了しました。

しかし、最後まであきらめず闘う姿勢で、権限移譲の議案が提案される12月議会に向けて、これまで全教北九州が作ってきた権限移譲ニュースなどの資料を、市議会各会派を回り手渡しして、議会での意見を要請しました。そのなかで共産党の大石議員がこの問題を取りあげ、教育長から「権限移譲後の教職員の勤務条件は、課題と認識している」「引き続き検討する」との前向きな回答を引き出してもらいました。また、国会でも田村議員が、「権限移譲にもなると教職員の勤務条件は下げない」という総務省の見解が北九州は守られていない」ということを取り上げて改善を迫りました。が、なんと市は「扶養手当が県費負担教職員より高いので給与は下らない」ということを国や国会議員、市議会議員そして教職員にも宣伝し、移譲が問題なく勧められようとしていることをアピールして可決されました。

引き下げられたり、なくなったりした権利は母子保護や働き方に関する権利が多く含まれています。来年度は、それらの権利をもとに戻す運動が必要です。すでに北九州の職員労働組合ともこれからの共闘の在り方を検討し、北九州の職員すべての労働条件を改善、向上する運動をつくっていくことを確認しています。

北九州市教職員労働組合（市教労）が全教北九州市教職員組合（全教北九州）として全教に加入して3年目です。市教労は、およそ10年前に地区労連の協力でわずか10人足らずの組合として結成されました。結成の動機は、新しい闘う教職員組合の必要性に迫られてです。最初から妥結ありの条件闘争をするのではなく、正面から教職員の利益、要求を交渉の席では訴え、委員会も譲歩をせざるを得ない状況まで追い詰める事案もありました。

女性教職員が誇りをもって明るく、元気に働ける、そんな職場の実現に向けてともに頑張りましょう。(委員長 中村賢太郎)



「女性の権利と生き方・大切にしたいもの」

講師：全教女性部事務局長 山本乃里子さん

ジェンダー格差指数144カ国中



日本は何位？

なんと111位！ジェンダー格差指数とは、経済活動への参加、政治への参加、教育、健康などの分野が対象です。北欧が上位を占めるのは予想通り。でも、5位がルワンダや10位のニカラグアというのは意外でした。先進国のつもりでも日本の男女平等の現実、それほど低いのです。仕事も家庭も大切にしたいという意識が当然のこととなるには、まだまだです。CEDAW（国連男女差別撤廃委員会）やILO（国際労働機関）から、平等や両立支援についての勧告をうけていること、日本もいくつかは批准していること、批准した以上は実施する義務があることなど、現在の情勢について知ることができました。産休代替講師が見つからなくて、妊娠する方が遠慮しなければならないなんて、言語道断だと改めて思いました。

誰に生理休暇のことを教えてもらいましたか？

ずっと昔、今の自分くらいの年配の先生のことを思い出しました。「上席」という言葉が普通に使われていたころです。それからうん十年、私が4年目の同僚に生理休暇のことを教えると、「へー、それって年1回ですか？」絶句・・・というか、そこまで権利が伝わっていないということ。「権利には、先輩女性たちが勝ち取ってきた歴史が詰まっている。」というお話を聞いて、自分が権利をしっかりと伝えていく年になったのだと再確認しました。

使われない権利は さびてしまう！

- ① 権利を知ろう！学ぼう！
- ② 使おう！
- ③ 伝えよう！



・・・そして・・・一番使いたいフレーズが**これ**です。

管理職や市教委に義務を自覚させよう！

教職員の権利を守る義務は、管理職と市教委にあります。[権利を実際に使えるように条件を整えること]が彼らの仕事なのです。教育内容に介入してくることはありません。そこを私たち自身が意識して、発言していかななくてはならないと思いました。



多量の仕事に追い立てられ、教育の難しさに翻弄されている、大切なことも忘れてしまひそうになります。でも、こうやって女性部で集まり、学ぶことで

もう一度何を大切にしたいのか、どう変えていきたいのかがはっきりとしてくる・・・そんな学習会でした。(内山)

参加者の感想

講演について



* 「女性の権利と生き方・大切にしたいもの」というテーマで改めてそれぞれの意味を知ることができ、今後の働き方への姿勢を考えることができた。定年まで元気に働けるようにこれからも先生方と力を合わせて歩んでいけたらと思った。

* すごく勉強になった。働くことに権利の中で長時間労働や睡眠時間の課題など自分で理解していながらも、行動に移すことができていなかったものに気づくことができた。

* まだまだ知らないことがたくさんあって、勉強になった。当たり前の権利だが、なかなか自分自身使うことに対して気兼ねしてしまう部分もある。



今回学習したことを雑談などの中で職場の人たちにも教えてあげたい！！

* 具体的な数値でとてもわかりやすかったし、知らない情報がわかってよかった。「使われていない権利はさびてしまう」ということで、職場の若い人たちにいろいろと伝えていきたい。これまで生理休暇を知らない若い人が結構いたので、夏休みなどに教えていたけれど、もっと、他の権利も知らせたい。

* 仕事の忙しさに負けてサークルも組合活動も足が遠のいていた。今日のテーマ“女性として教師として大切にしたいもの”を忘れさせられていたように思う。山本先生のお話から気づかされたこと、考えさせられたことがたくさんあった。市教委に、子どもたちの本当の学びを保障させる取り組み、学校で、職員会の中でも要求していかななくてはと思った。

* 日々忙しい中で自分の立ち位置がわからなくなるときがある。「子どものために・・・」「一生懸命・・・」教職員の意識も変えていかなければならないのかな」と思った。自分はどう生きるのか・・・教師として母親として・・・などもう一度考えてみたい。

* いろいろな結果を数値化して、とても驚くことばかり。現場では子どもたちに人権や命について指導する立場なのに、教職員の人権・命が守られていないことがおかしいと改めて感じ、考えさせられた。

* 生き生きと私たちが働かせてもらうために、市教委にしっかり自覚してもらおうように、今年は運動に参加していこうと思った。今日の講演で大切なものを意識できる時間が持てた。

* 様々な会で話を聞かすが、女性部の会の話は女性ならではの話なので、とてもためになった。次の夏季休暇では生理休暇を取りたい。

* 「条約は法律よりも重い」ということを改めて知って、もう少し意識していきたいと思う。周りに広げたい。

* 管理職に義務を自覚させるということを意識しないといけないというのは、なるほどと思った。現教職員がびっくりするくらいその意識がない。3月に替わるが、新しい学校でどうなるのか心配。

* 学テはこの先どうなるのか。上位校と下位校の差もかなり縮まっているので、悉皆でなくてもいいのでは。

* 8+8+8にはほど遠い生活をしている状況である。

* 「教職員に権利を守る義務」を自覚させるという言葉が一番、心に響いた。これからの運動のキーワードだと思った。



昼食交流会について

●いろいろな先生方のお話が伺えて「同じだなあ」と喜んだり、「そんなひどいことって、あるの?」と憤ったり。貴重な時間が過ごせた。

●今回女性部交流会に初めて参加したが、温かく迎えてくださったので、話しやすかった。 ●お弁当、おいしかった！

●同じ特支の先生が多く、話しやすかった。

●あまり話をするのが得意ではないが、あたたかく受け入れてくださり、ありがとうございました。

●和やかな雰囲気の中で、情報交換、交流ができて、元気をもらえた。また、一人じゃない、みなさん(仲間)がいるという心強さも感じられ、うれしかった。●いろいろな学校の状況が知れてよかった。

●抱僕館つながりの優しいお弁当、おいしかった。みなさんのお話に共感できることが多く、もっといろいろ話したいなあ。

●とても美味なお弁当ありがとう。弁当紙を持ち帰って職員室に貼って、みなさんに紹介したい。

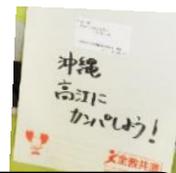
●とってもおいしいお弁当とスイーツだった。これだけで、まず、「女性部交流会に来てよかった！！」と思えた。

●おいしいお弁当とアップルパイ。みなさんのお話とおいしい食事から心も体もほっと一息、栄養をいただき、来週への活力をいただいた。

●自分を見失いそうになりがちだが、みなさんに会うと元気になる。

●M先生の置かれた状況にびっくり。みんなで支えてあげたい。

●参加者一人一人の声を聞き、各学校の様子がよくわかった。どこも大変。でも、助け合ってがんばっておられる方もいて、とてもよい時間だった。



政府はやんばるの森を破壊し、沖縄県東村高江集落を取り囲むようにしてオスプレイ用ヘリパッドを強行建設している。高江の住民はすべての命を守るために阻止行動の座り込みを続けている。

高江へのカンパ(5200円)ありがとうございました。